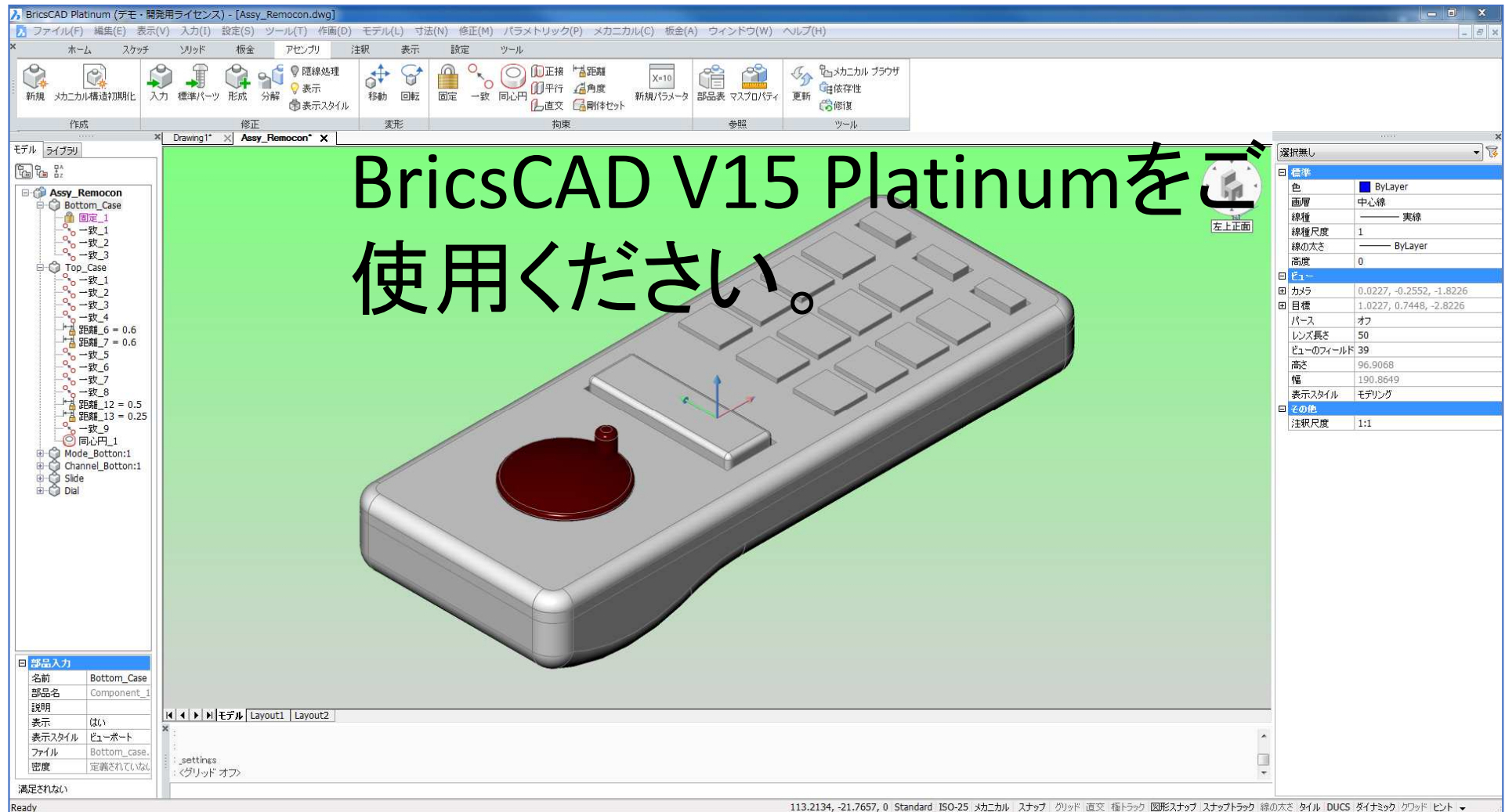
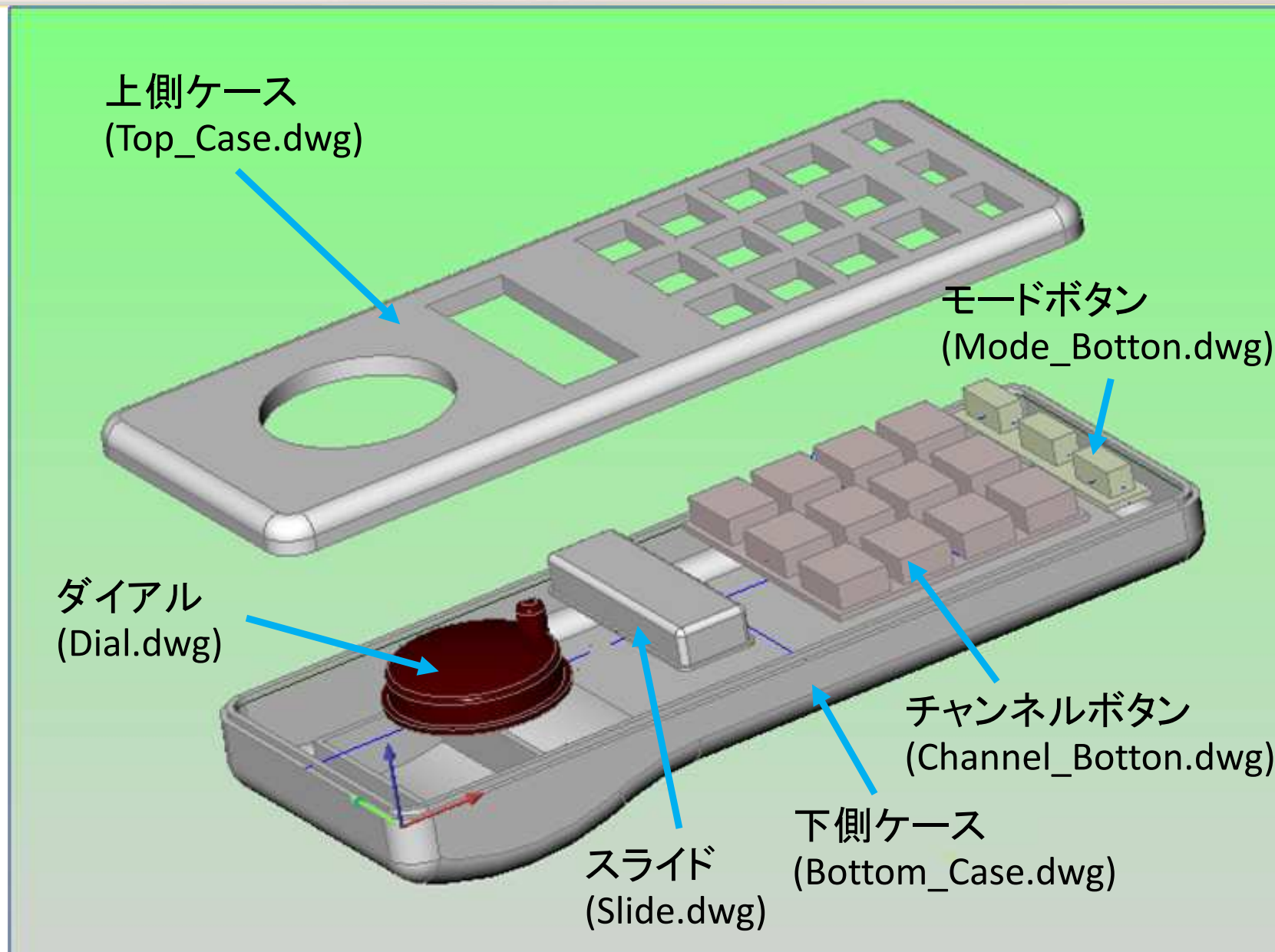
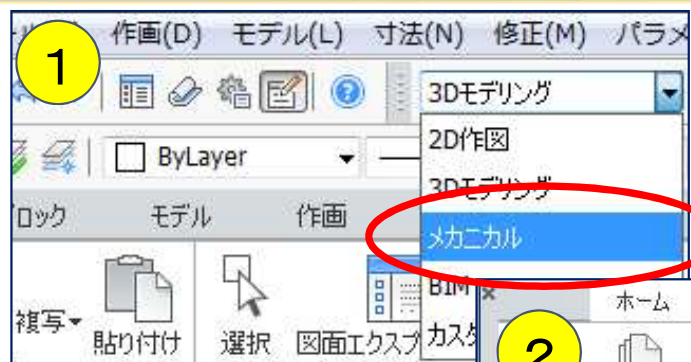


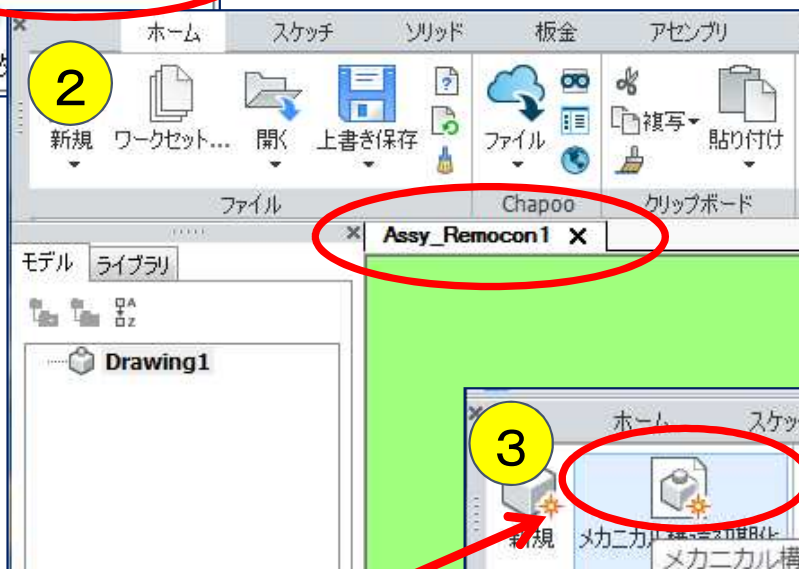




3. 組立モデルの作成(ファイル名の変更)

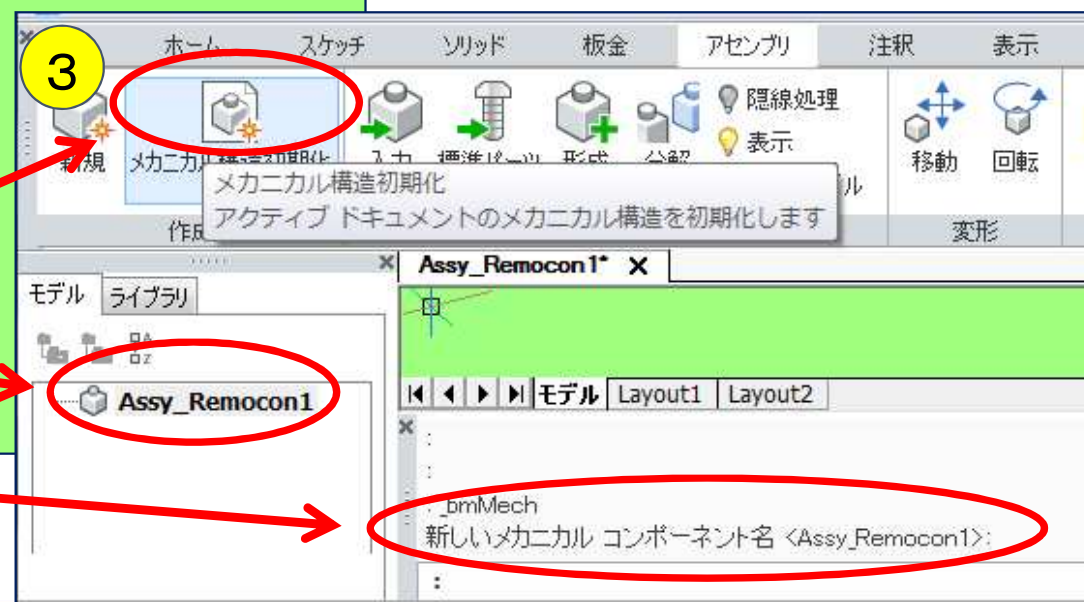


1. ワークスペースをメカニカルに変更します。



2. 一旦、ファイル名を、「Assy_Remocon1」という名前で保存します。ドキュメントタブは、「Assy_Remocon1」に変更されます。

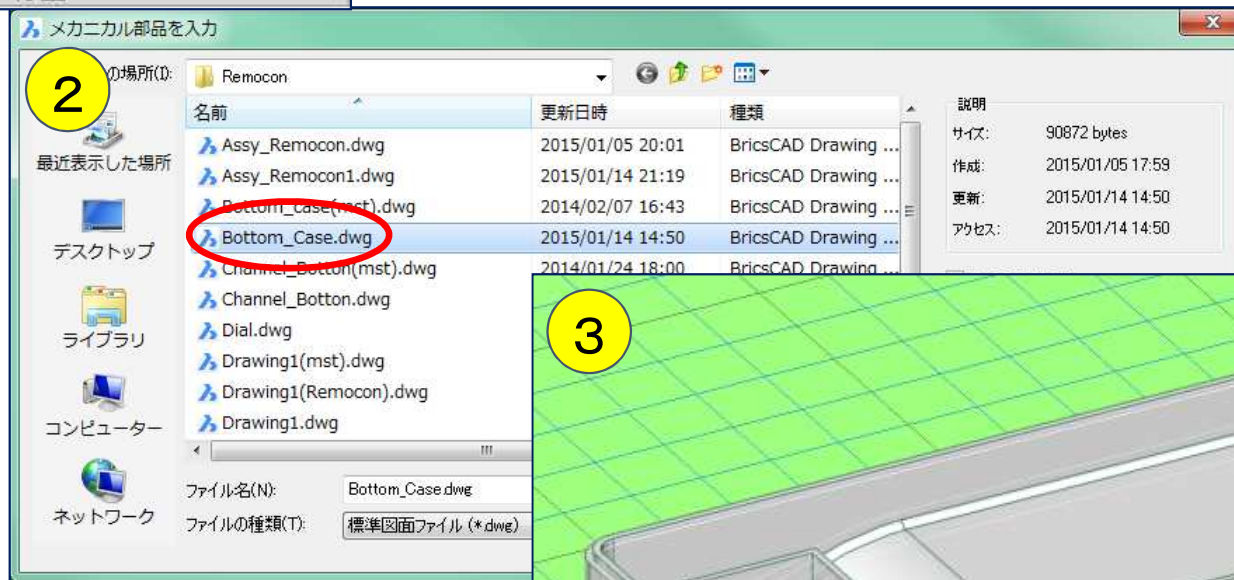
3. メニューの「アセンブリ」「作成」「メカニカル構造初期化」をクリックするとコンポーネント名が変わり、コマンドラインにコンポーネント名が表示されます。



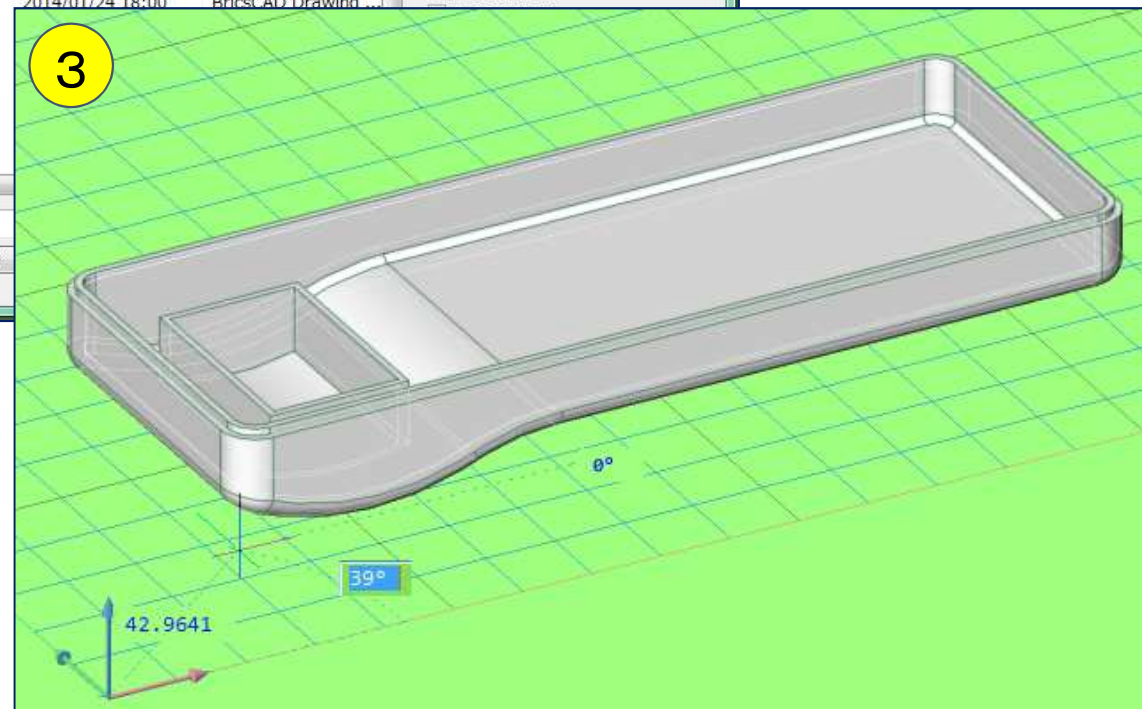
3. 組立モデルの作成(下側ケースの読込)



1. メニューの「アセンブリ」「修正」「入力」コマンドでコンポーネント(部品)の入力をします。

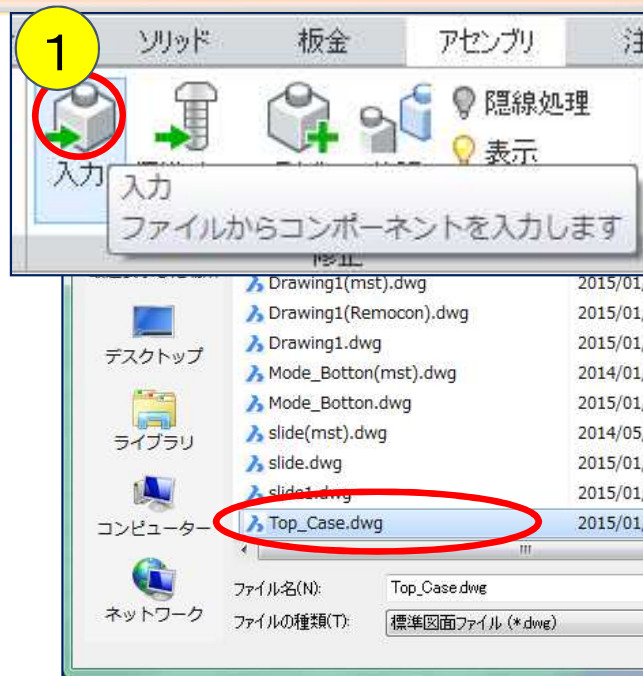


2. 下側ケースの「Bottom_Case.dwg」を開きます。



3. コンポーネント(部品)がカーソルについてきますので、「ENTER」でX:0,Y:0,Z:0の位置に配置します。

3. 組立モデルの作成(上側ケースの読込)



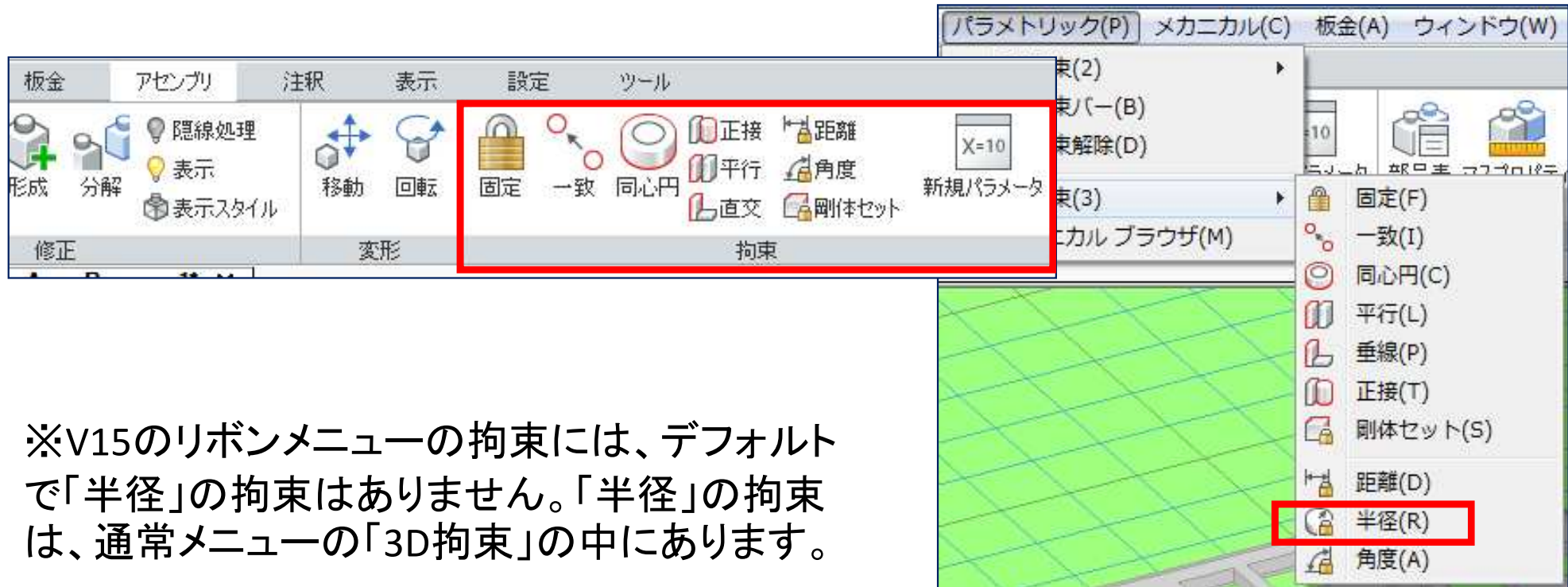
1. 再度、「入力」コマンドで「Top_Case.dwg」を適当な位置に配置します。

2. メカニカルビューの部品名とファイル名を合わせます。
それぞれの、部品を選択し、名前欄に「下側ケース」、「上側ケース」と入力します。



3. 組立モデルの作成(3D拘束メニュー)

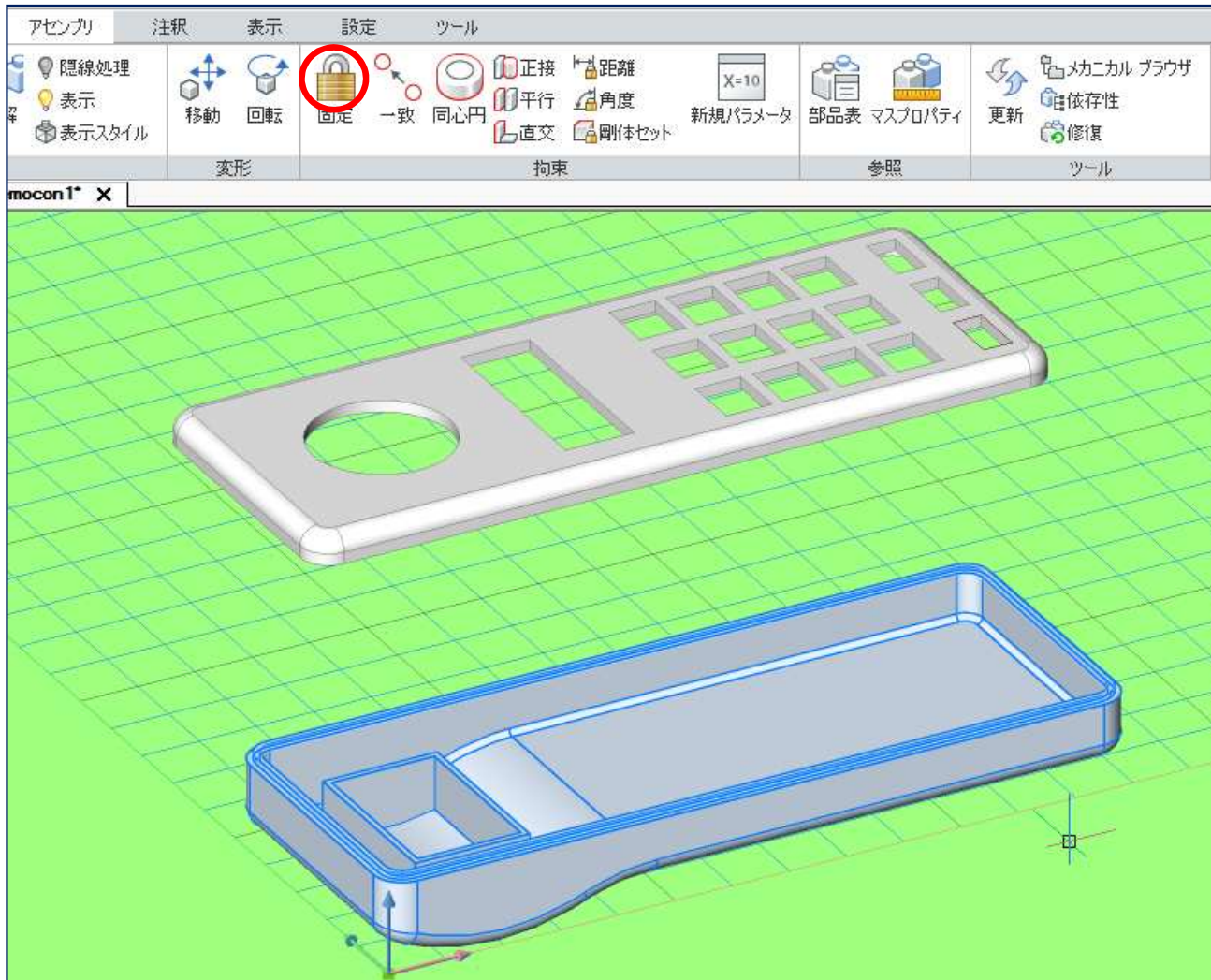
座標位置(X, Y, Z)の値でもコンポーネントの配置はできますが相対的な関係で組立配置ができます。それは3D拘束メニューより選択します。



※V15のリボンメニューの拘束には、デフォルトで「半径」の拘束はありません。「半径」の拘束は、通常メニューの「3D拘束」の中にあります。

3. 組立モデルの作成(下側ケースの固定)

まず、下側ケースを「固定」(黄色い鍵アイコン)します。



選択したときにモデル全体が青く選択された状態で「固定」アイコンをクリックします。

3. 組立モデルの作成(下側ケースの固定)



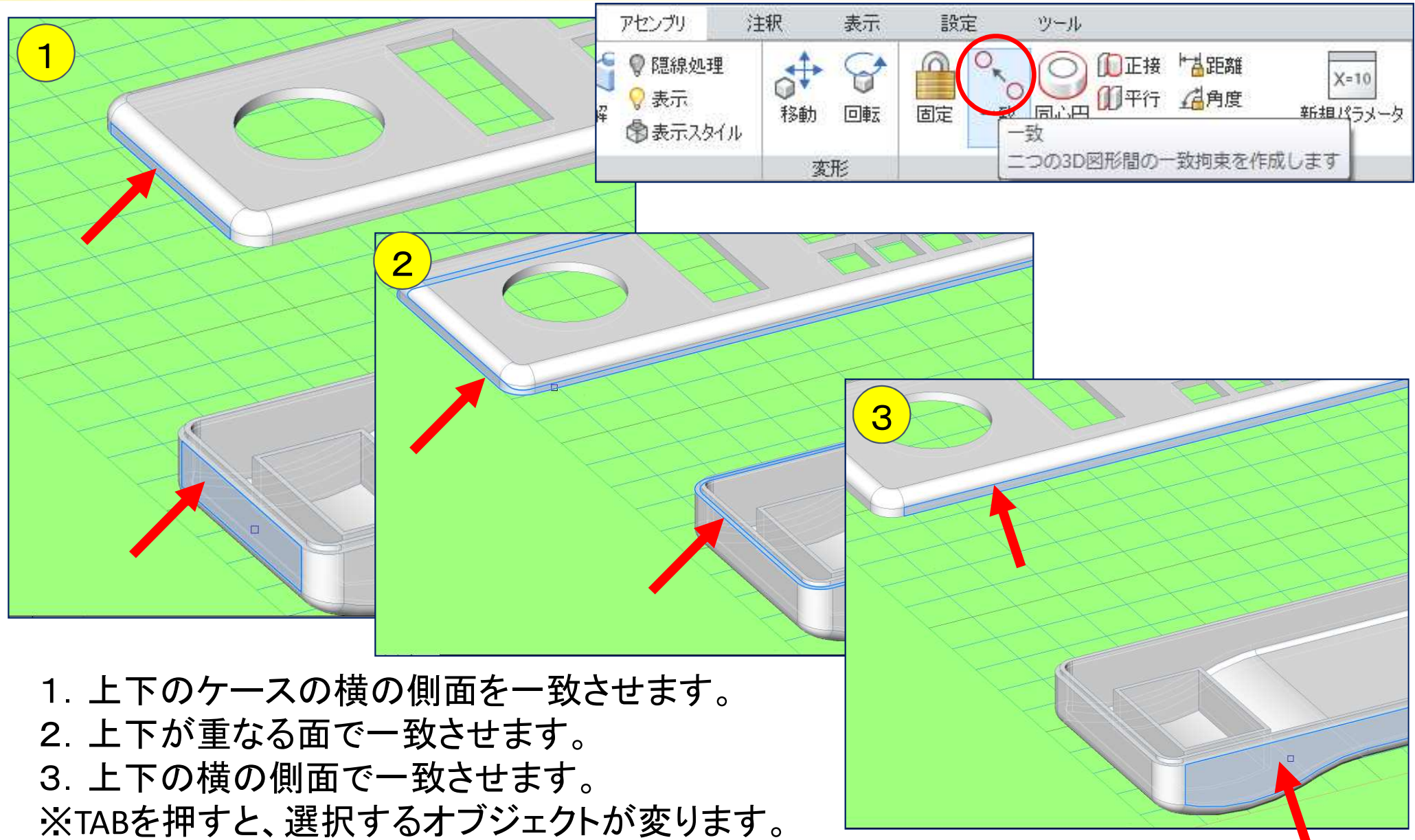
1. メカニカルビューの「下側ケース」下に固定アイコンが表示されます。

※固定とは、空間でこのモデルが移動しないようにすることです。相対配置では相手側が移動します。距離移動も同様です。

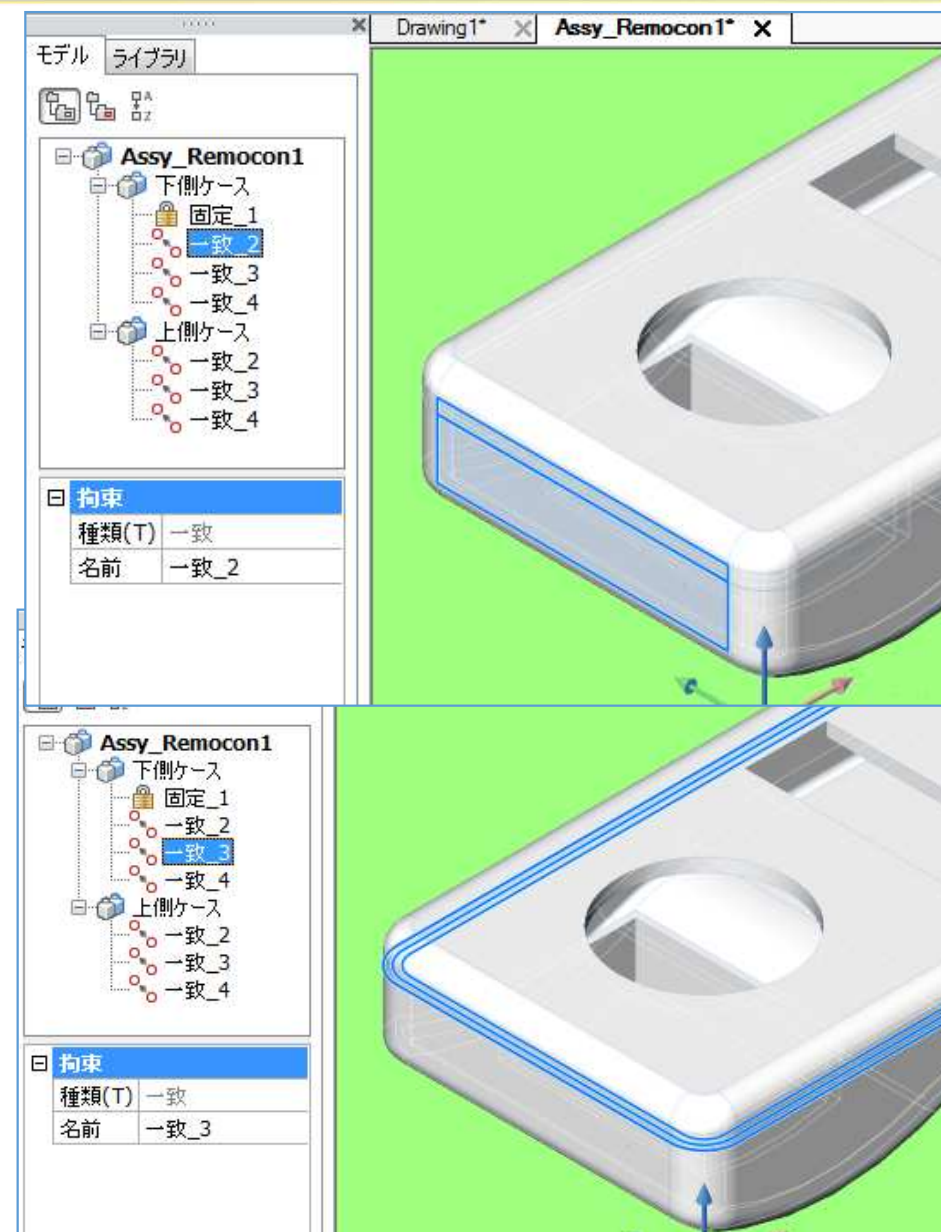
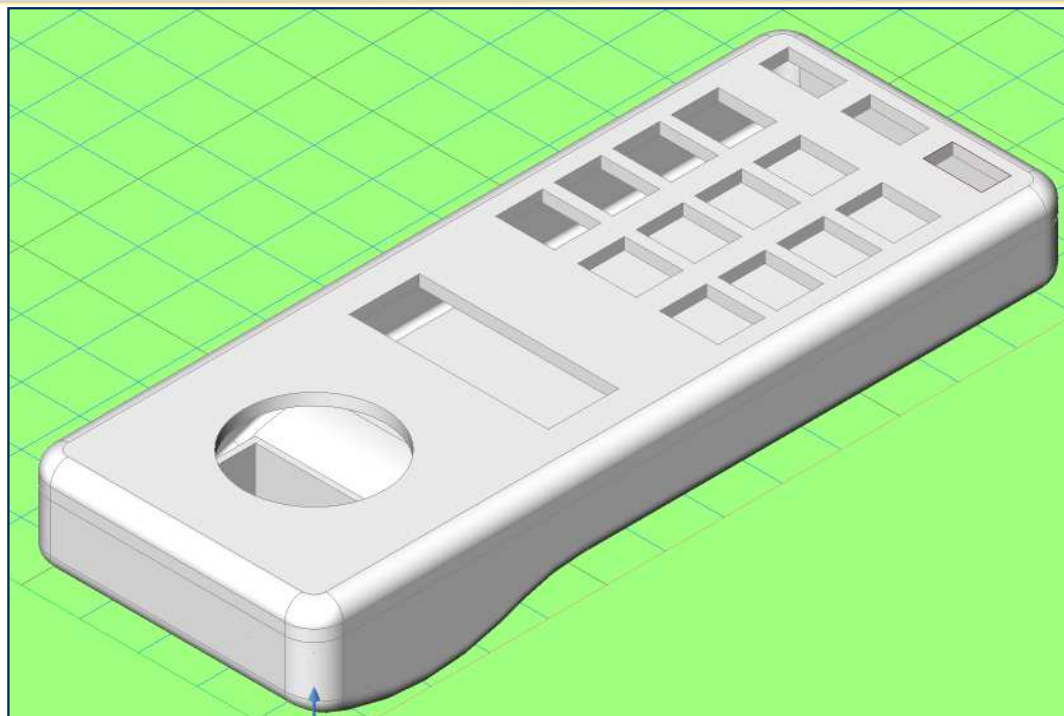


2. 「一致」コマンドで組み立てます。「一致」コマンドは向かい合う面、同一平面内になるときに使います。従ってペアで2面クリックすることになります。

3. 組立モデルの作成(ケースの組立)

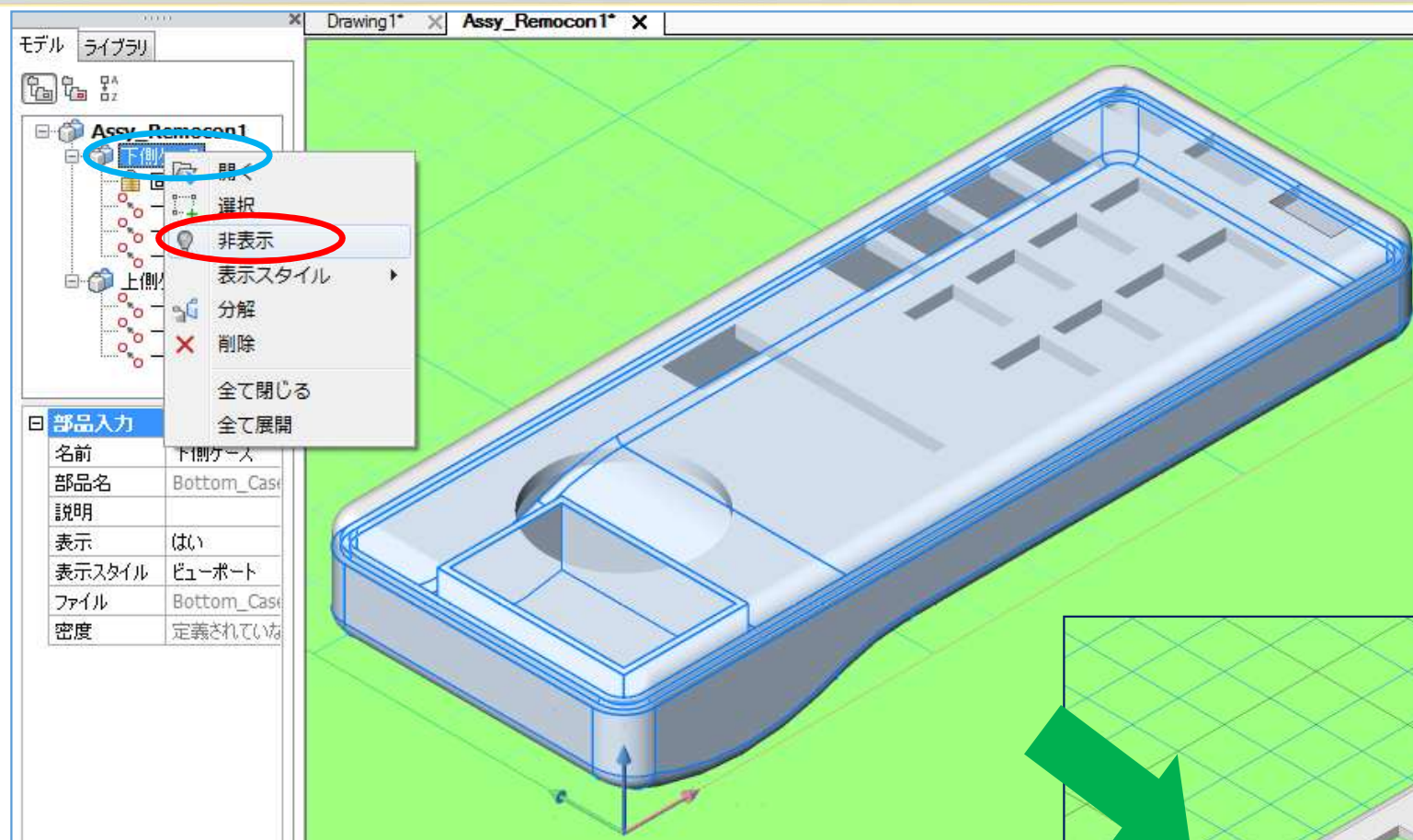


3. 組立モデルの作成(3D拘束の確認)



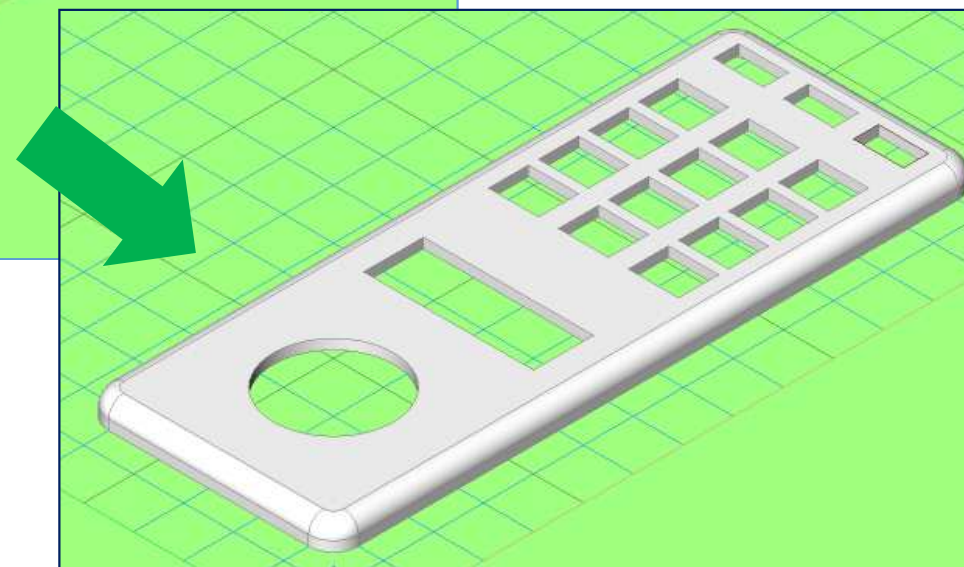
メカニカルビューの「一致_#」をクリックするとモデル上の一致させた面が青くハイライトします。それぞれ確認してください。

3. 組立モデルの作成(下側ケースの非表示)



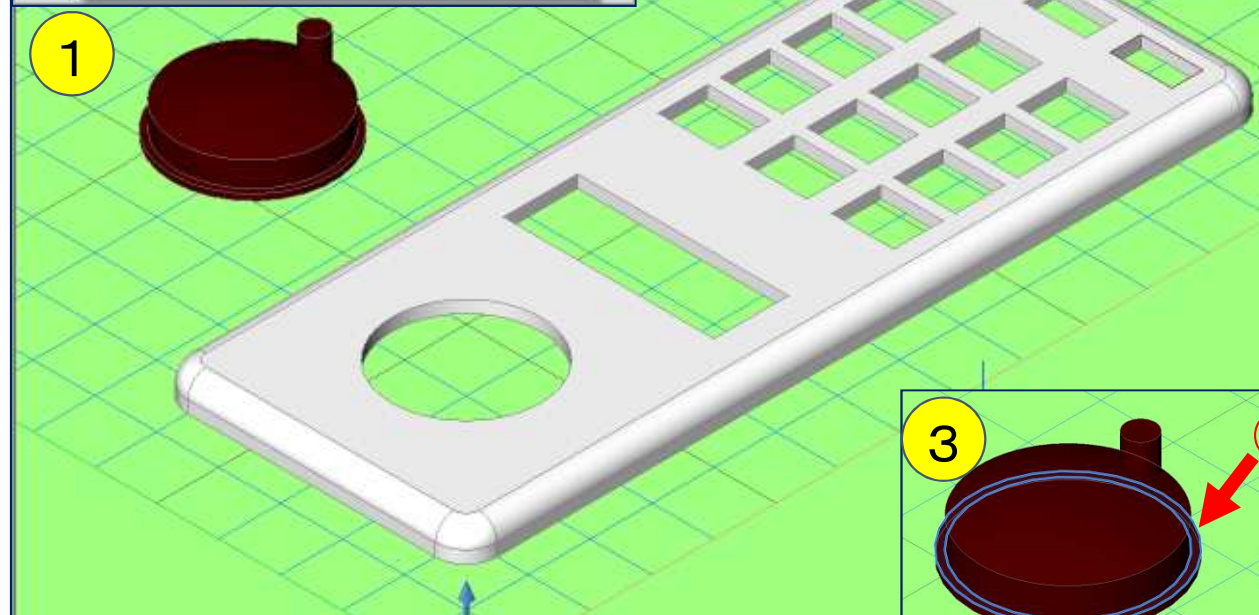
ダイアル、ボタンを組み立てるのに下側ケースが邪魔になるので一旦、非表示にします。

メカニカルビューの「下側ケース」を右クリックし、メニューの「非表示」を選択します。

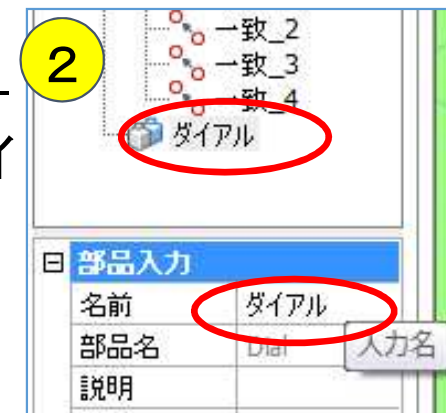


3. 組立モデルの作成(ダイアルの3D拘束①)

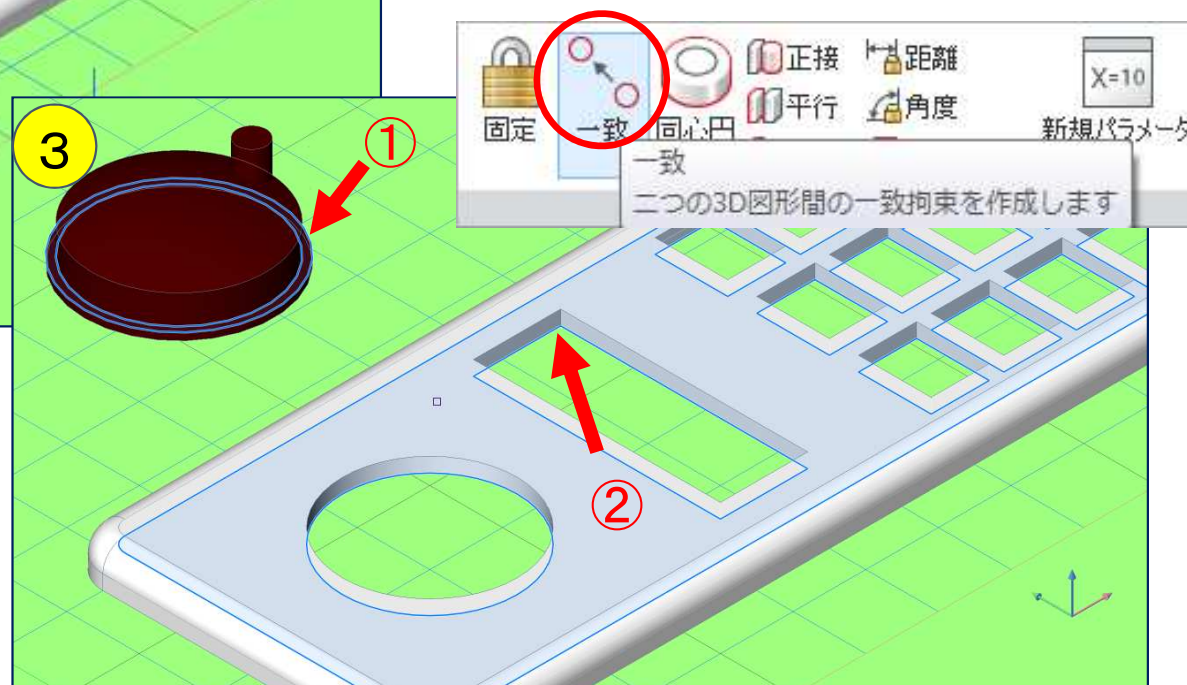
1. 「入力」コマンドで適当な位置に「Dial.dwg」を配置します。



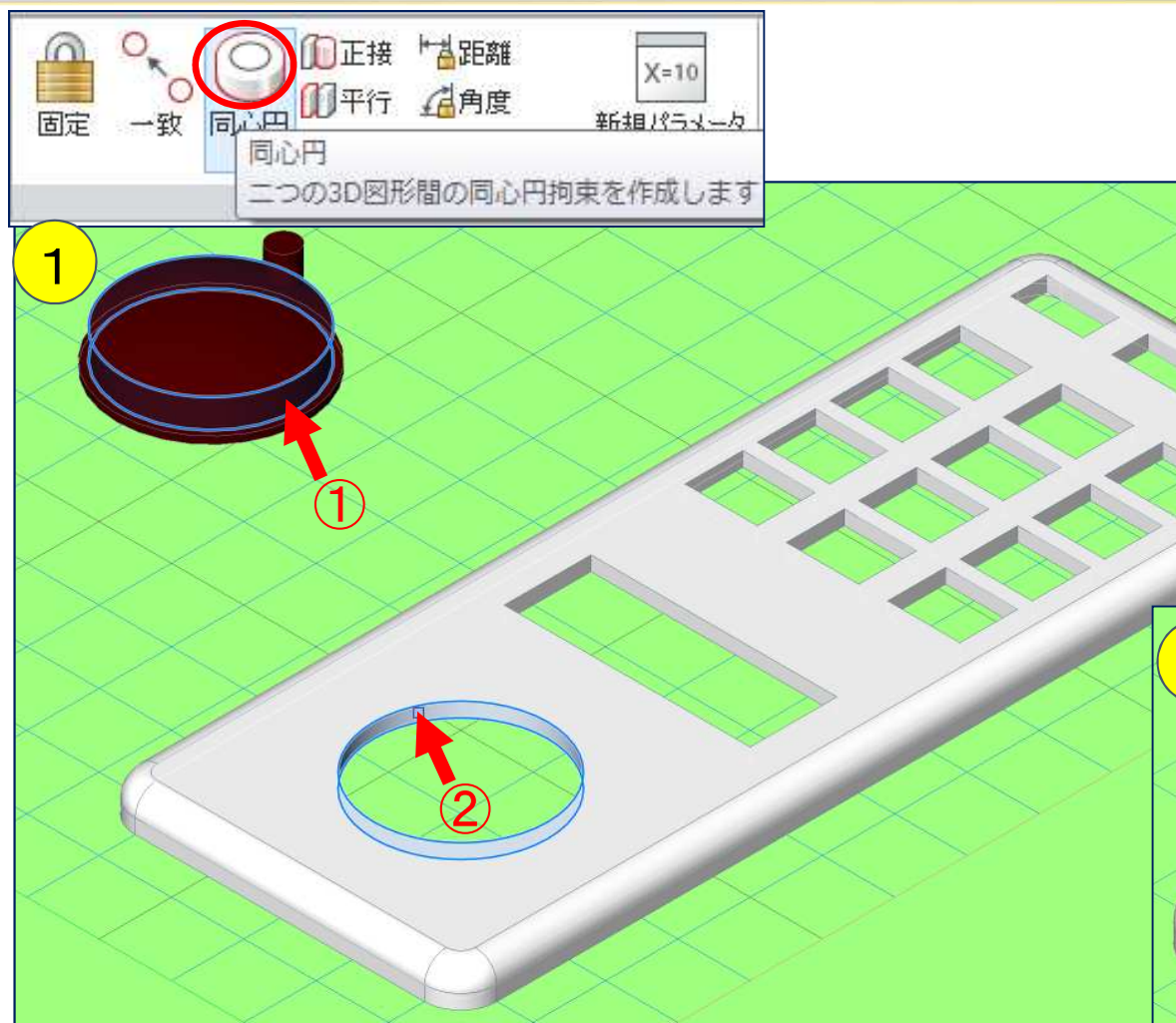
2. メカカルビュー
の部品名「ダイ
アル」と入力し
ておきます



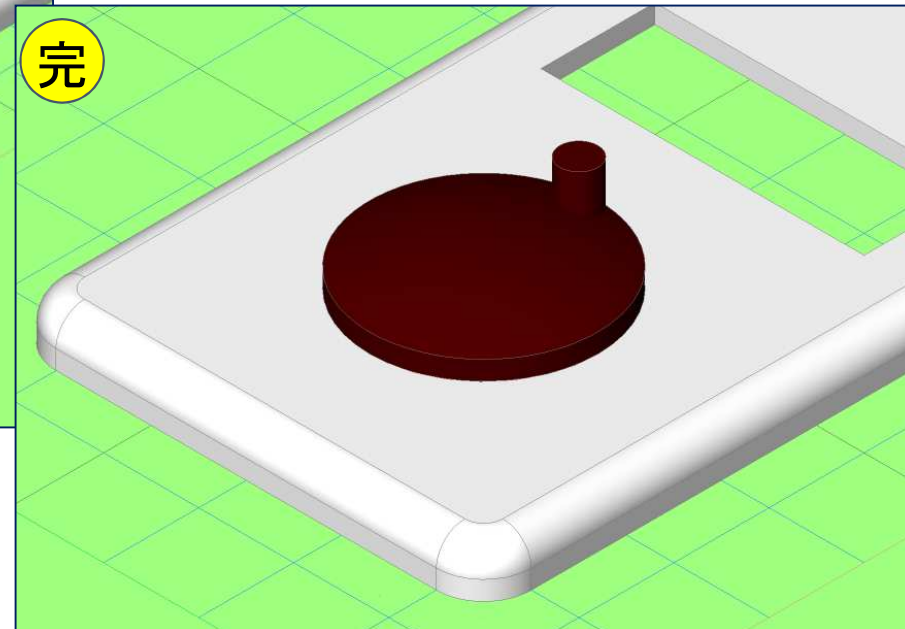
3. 「一致」コマンドで矢印①の
「ダイアル」のツバの部分と矢印
②の「上側ケース」の裏面をピック
します。



3. 組立モデルの作成(ダイアルの3D拘束②)



1. 「同心円」コマンドを選択して、矢印①の「ダイアル」の円柱側面部分と、矢印②の「上側ケース」の穴の側面部分を選択します。

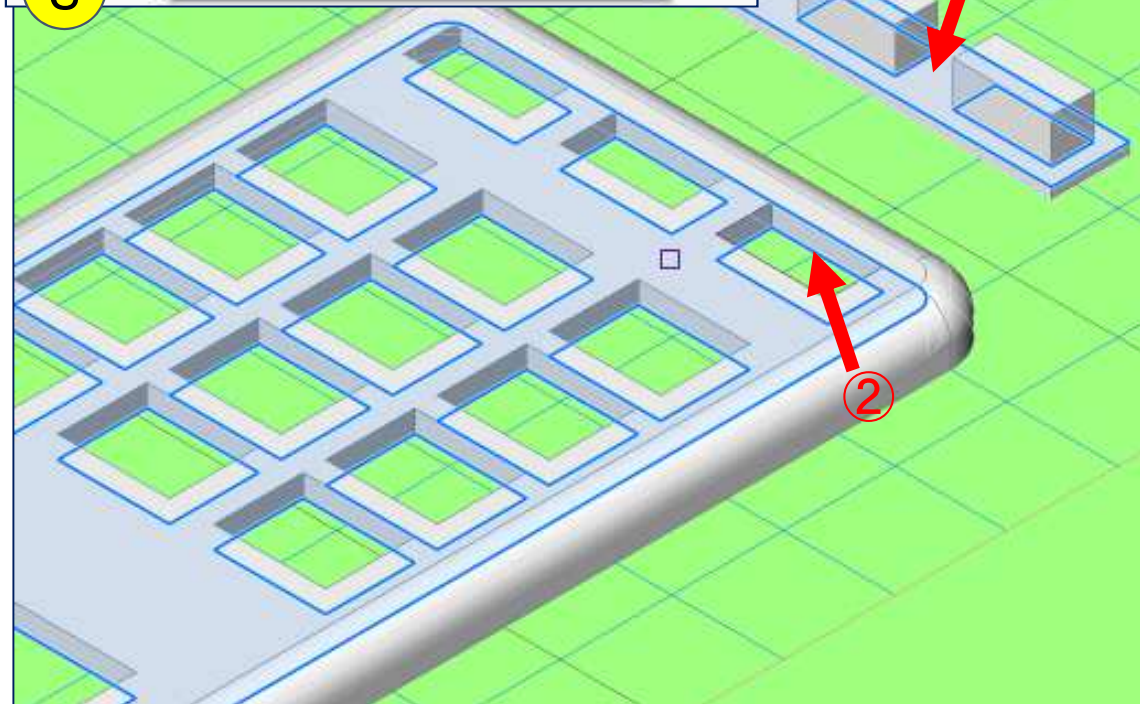
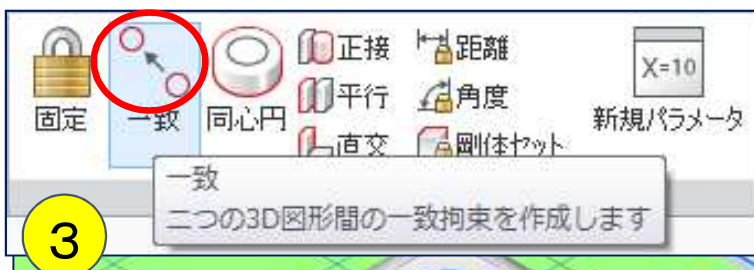


※「上側ケース」と「ダイアル」の隙間が無いのですが、後で変更しますのでそのまま進めます。

3. 組立モデルの作成(モードボタンの3D拘束①)



1. 「入力」コマンドで適当な位置に「Mode_Botton.dwg」を配置します。



2. メカニカルビュー
の部品名
「モードボタン」と
入力しておきま
す



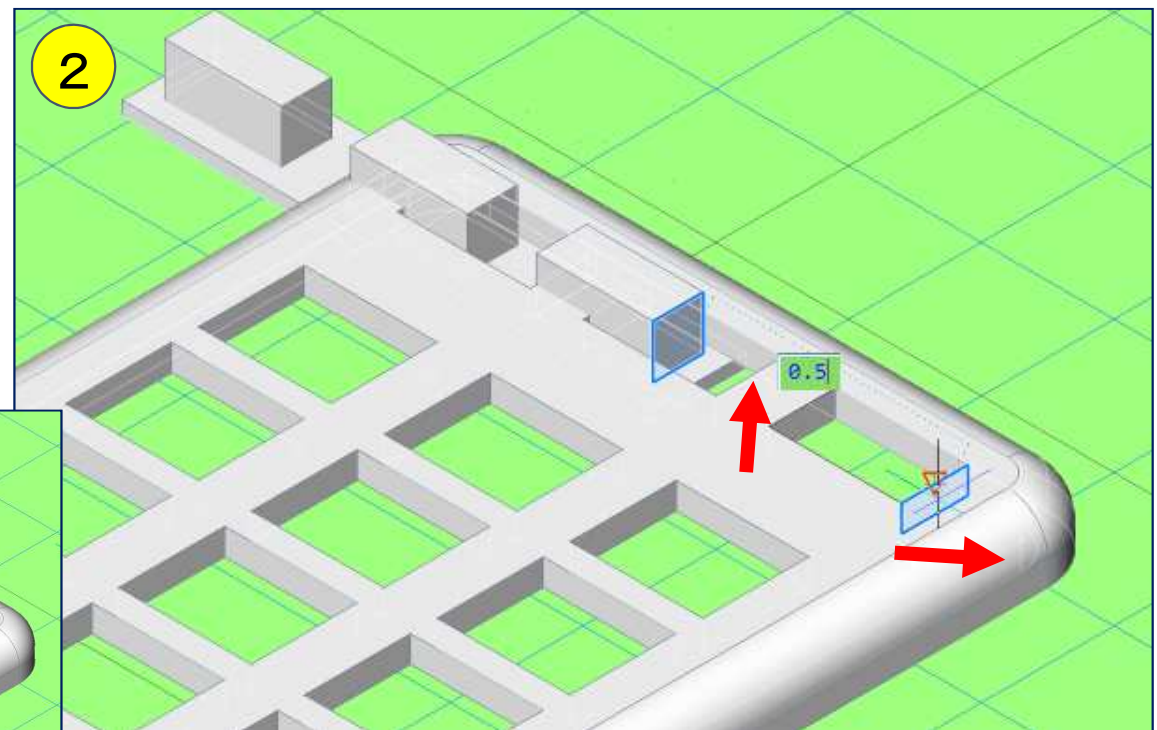
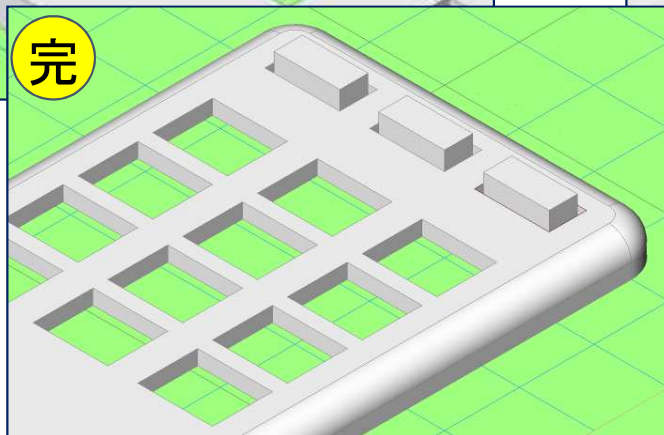
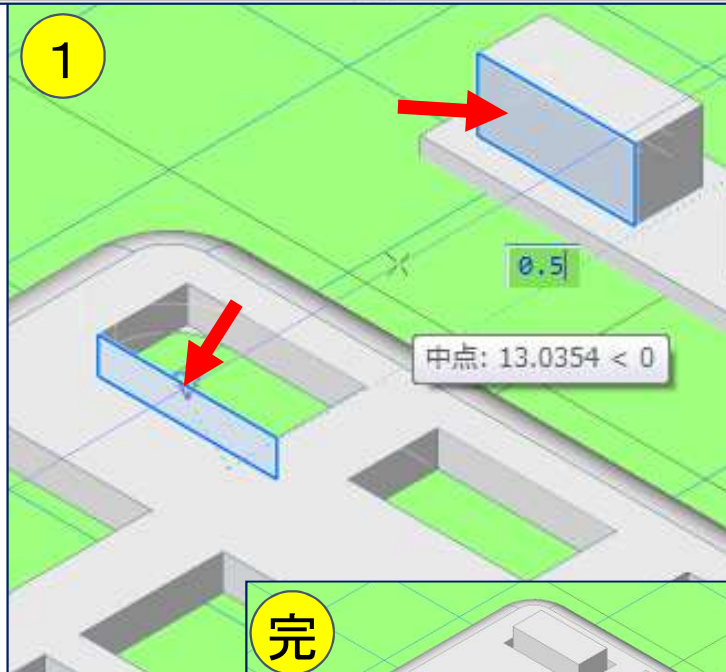
3. 「一致」コマンドで、矢印①の
「モードボタン」の上面と矢印②
の「上側ケース」裏面を一致させ
ます。

3. 組立モデルの作成(モードボタンの3D拘束②)



1. 「距離」コマンドで矢印面をクリックし隙間を0.5mmとします。

2. 同じように矢印面をクリックして隙間を0.5mmにします。



3. 組立モデルの作成(チャンネルボタンの3D拘束①)

BJ-SOFT

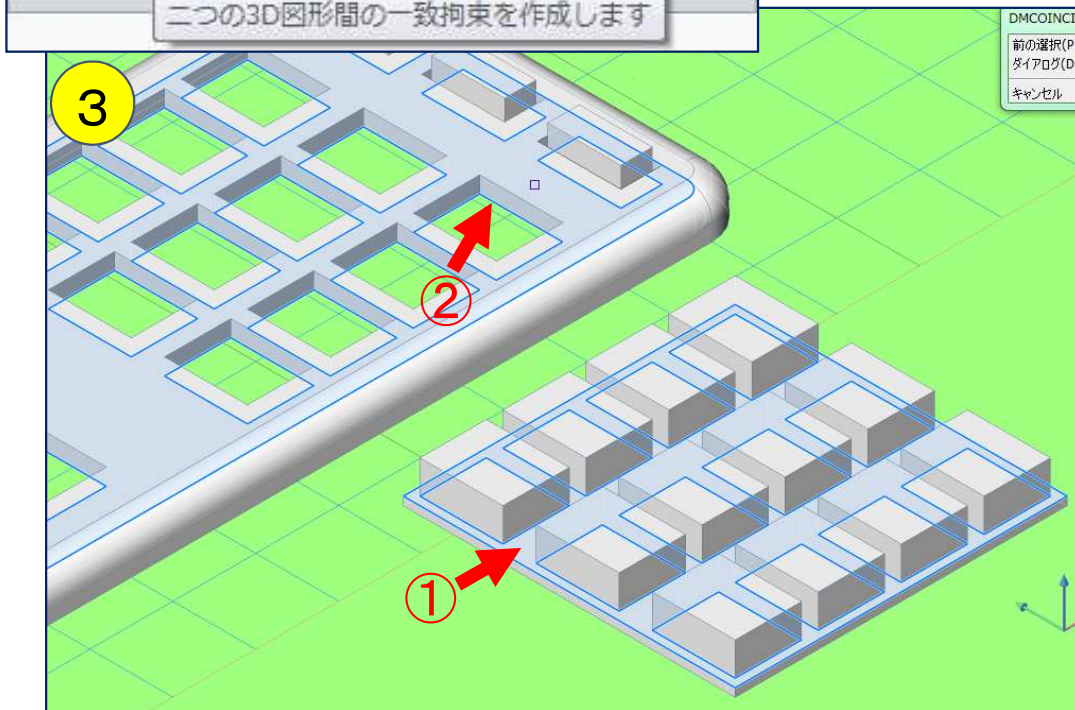
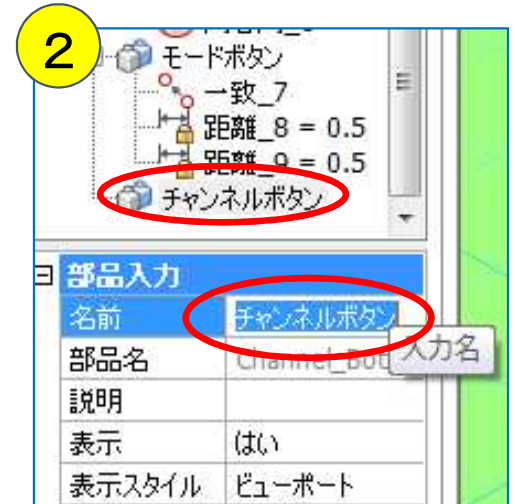
<http://www.bj-soft.jp/>



1. 「入力」コマンドで適当な位置に「Channel_Botton.dwg」を配置します。

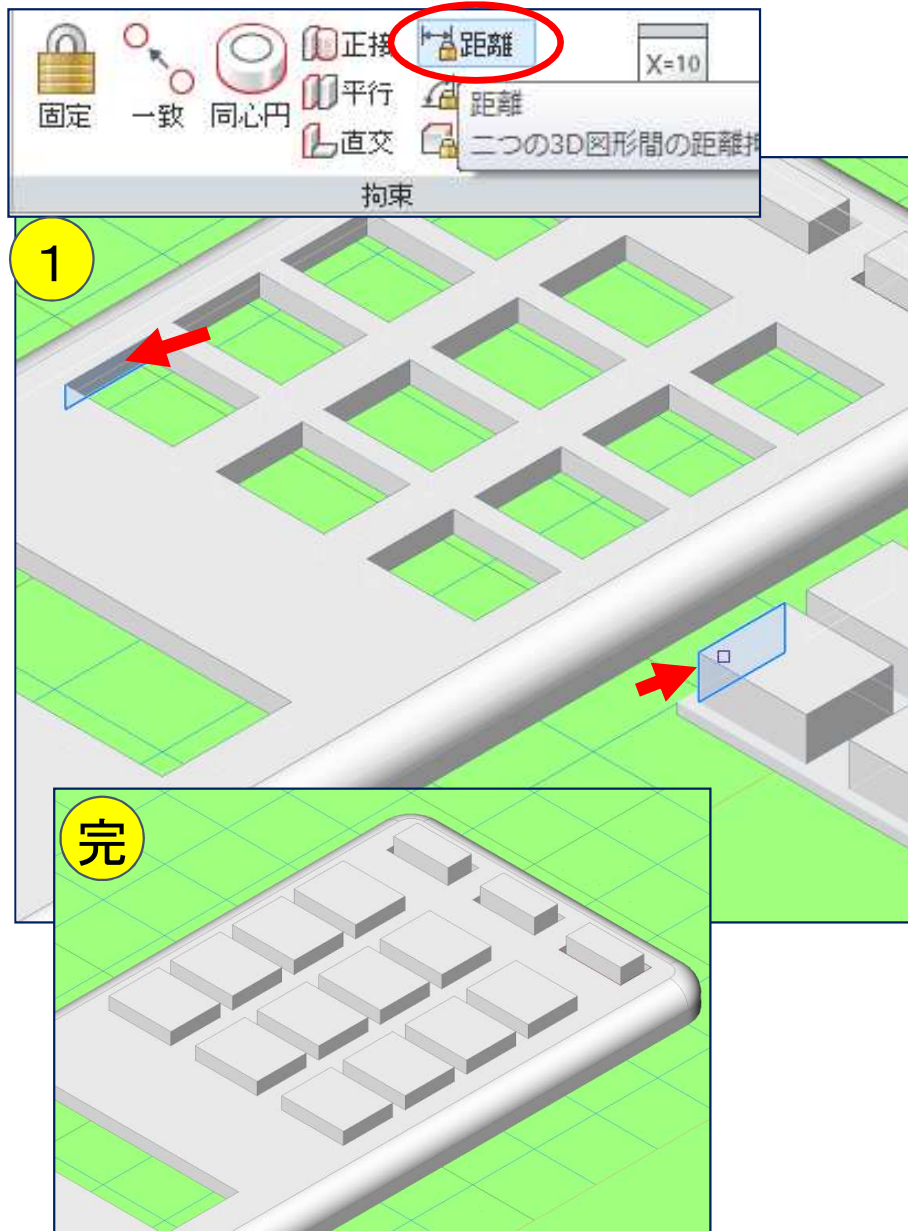


2. メカカルビューの部品名「チャンネルボタン」と入力しておきます



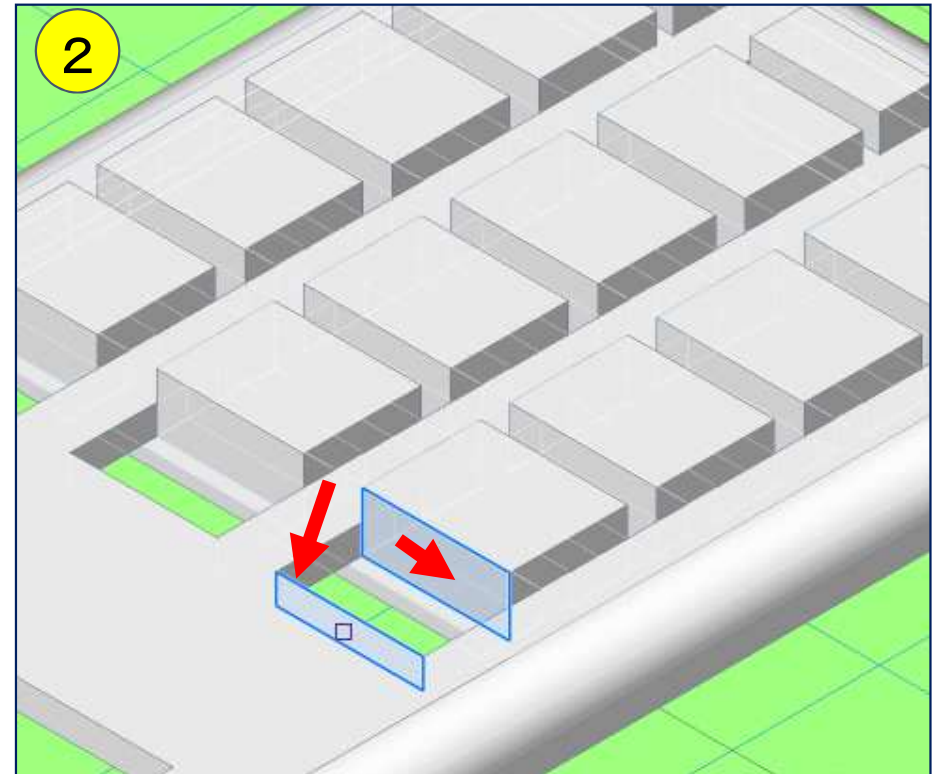
3. 「一致」コマンドで、矢印①の「チャンネルボタン」のシート上面と矢印②の「上側ケース」裏面を一致させます。

3. 組立モデルの作成(チャンネルボタンの3D拘束②) **BJ-SOFT** <http://www.bj-soft.jp/>



1. 「距離」コマンドで矢印面をクリックし隙間を0mmとします。

2. 同じように矢印面をクリックし隙間を0mmとします。

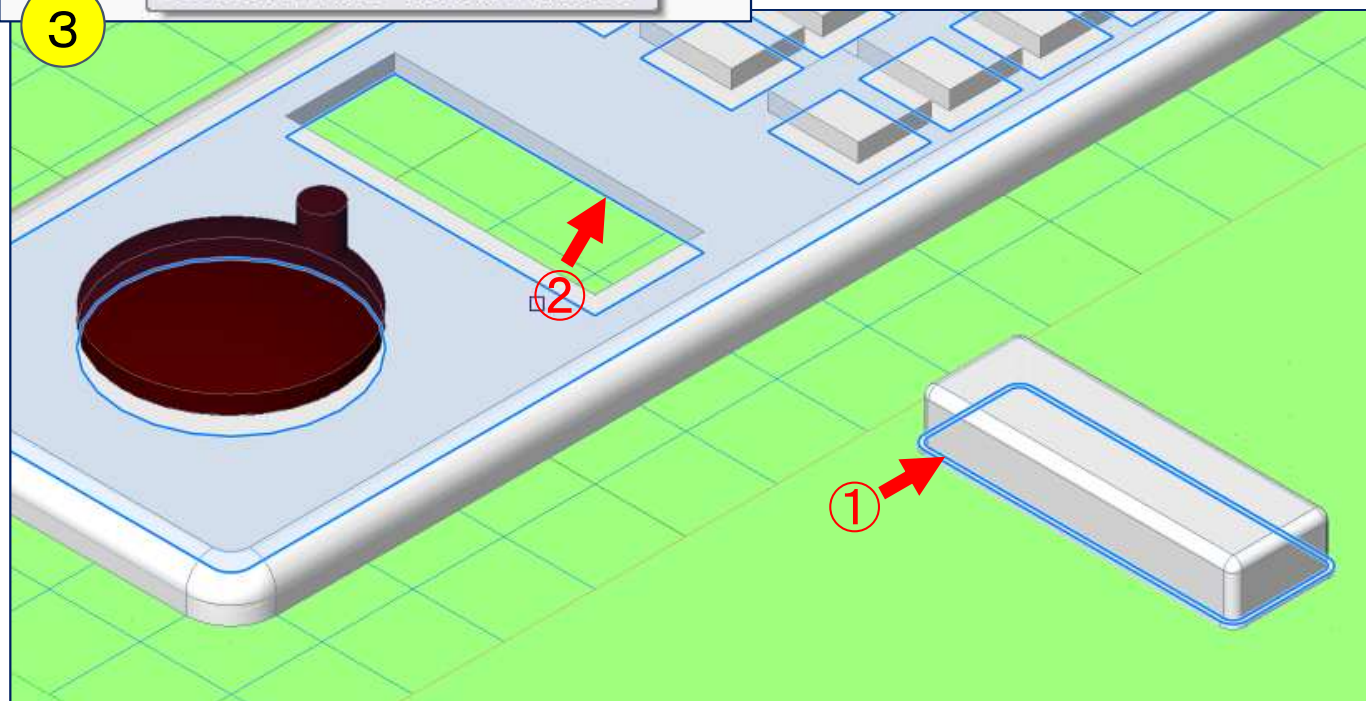
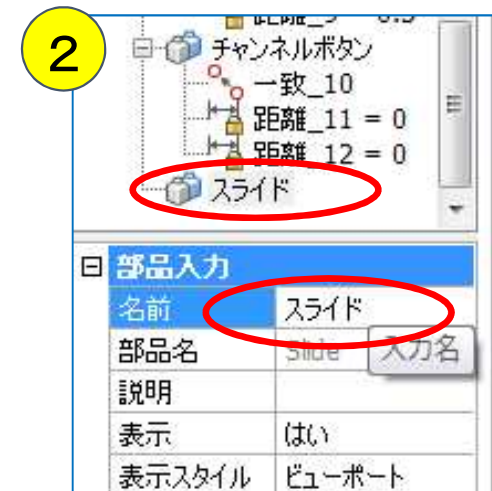


3. 組立モデルの作成(スライドの3D拘束①)



1. 「入力」コマンドで適当な位置に「Slide.dwg」を配置します。

2. メカニカルビューの部品名「スライド」と入力しておきます



3. 「一致」コマンドで、矢印①の「スライド」のツバの上面と矢印②の「上側ケース」裏面を一致させます。

3. 組立モデルの作成(スライドの3D拘束②)

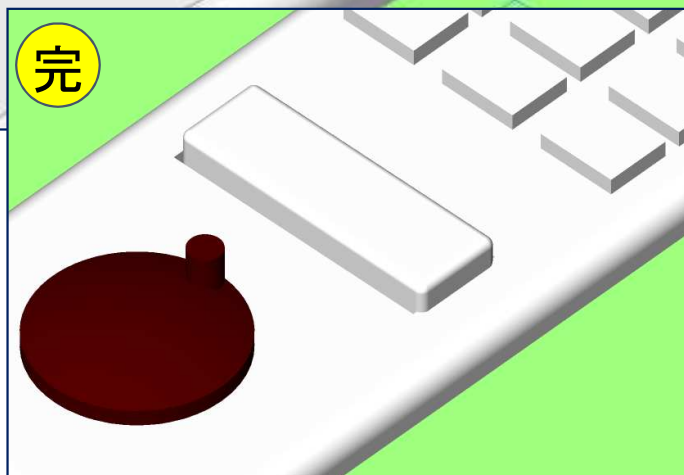
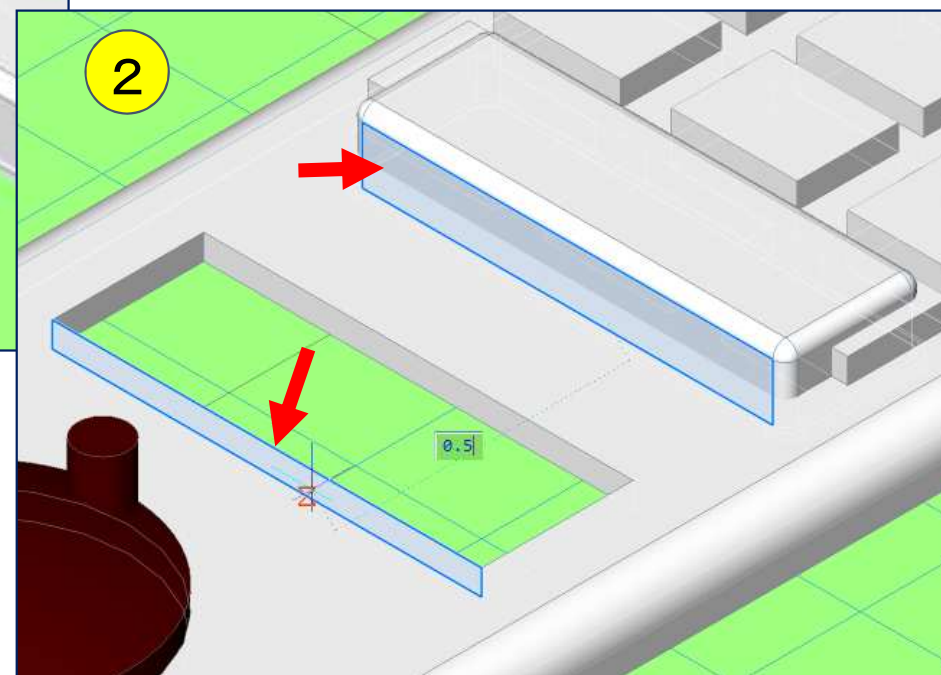


1. 「距離」コマンドで矢印面をクリックし隙間を0.25mmとします。

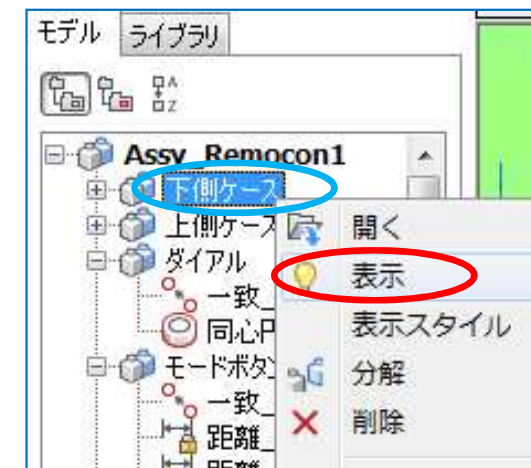
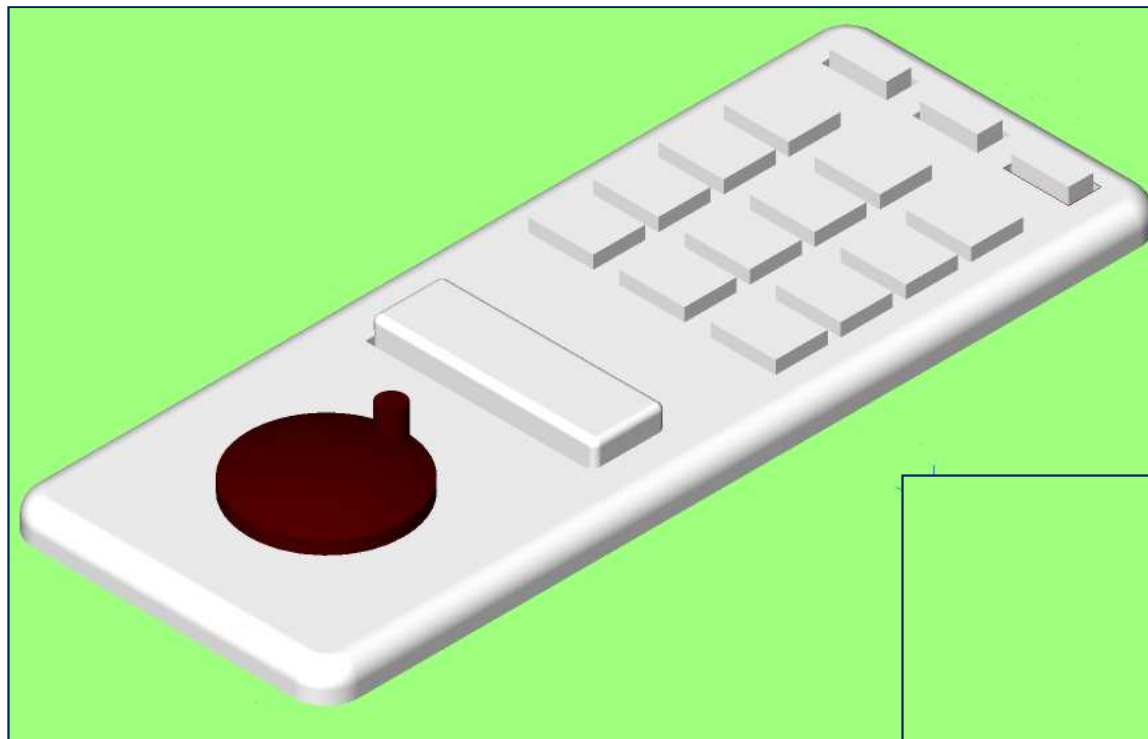


2. 同じように矢印面をクリックし隙間を0.5mmとします。

「上側ケース」と「スライド」が干渉していますが、後で変更しますのでそのまま進めます。

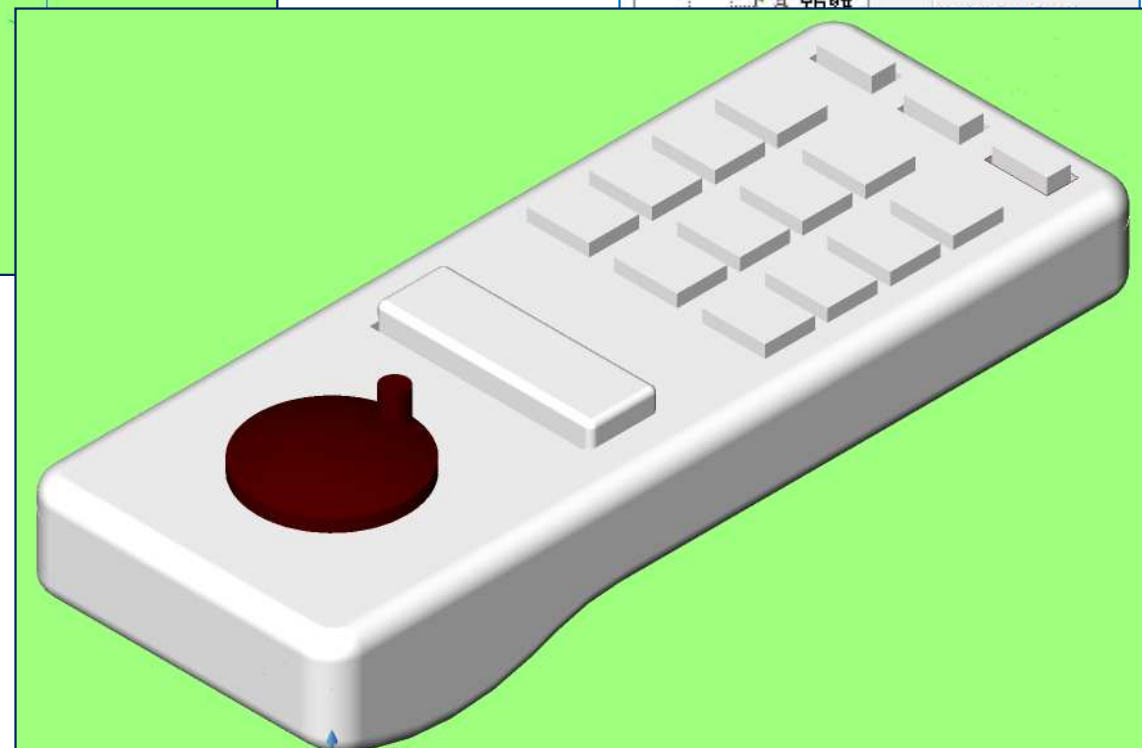


3. 組立モデルの作成(全表示)



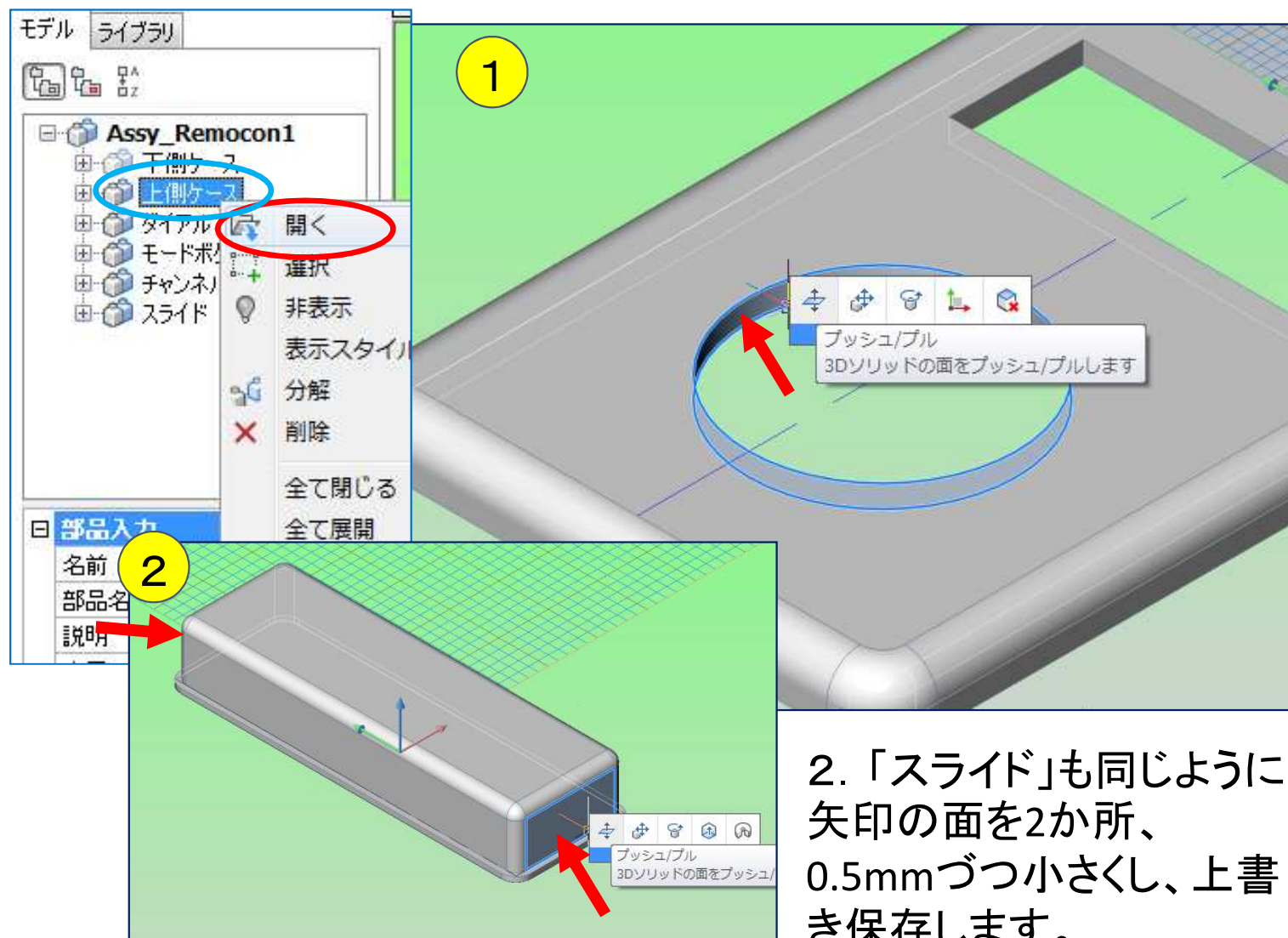
組み立てが完了したので、先
ほど非表示にしておいた「下側
ケース」を、表示します。

メカカルビューの「下側ケース」を右ク
リックし、メニューの「表示」を選択し
ます。

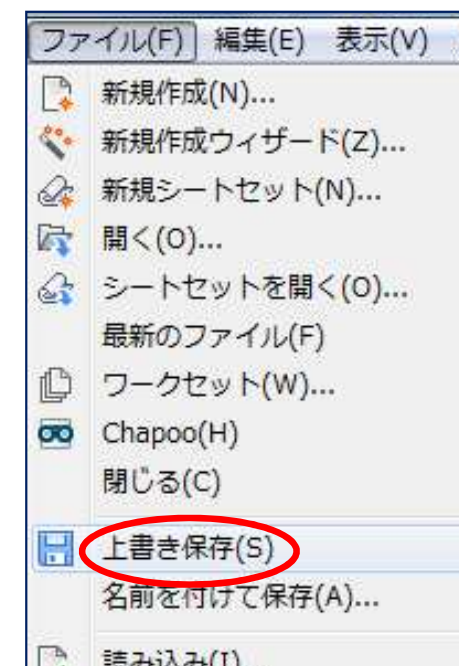


3. 組立モデルの作成(設計変更)

「ダイヤル」と「上側ケース」の穴の隙間が無いので穴を大きくします。

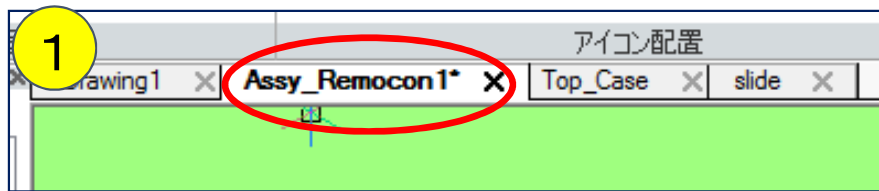


1. プッシュ/プルで
12.4mmにします。
変更したら上書き保
存します。

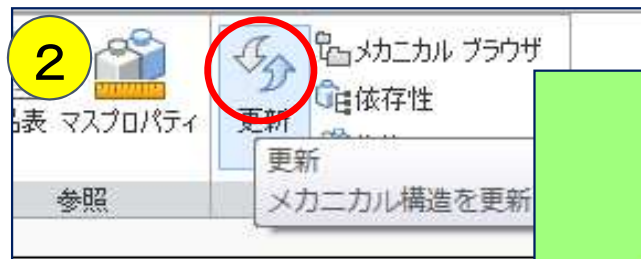


2. 「スライド」も同じように
矢印の面を2か所、
0.5mmずつ小さくし、上書
き保存します。

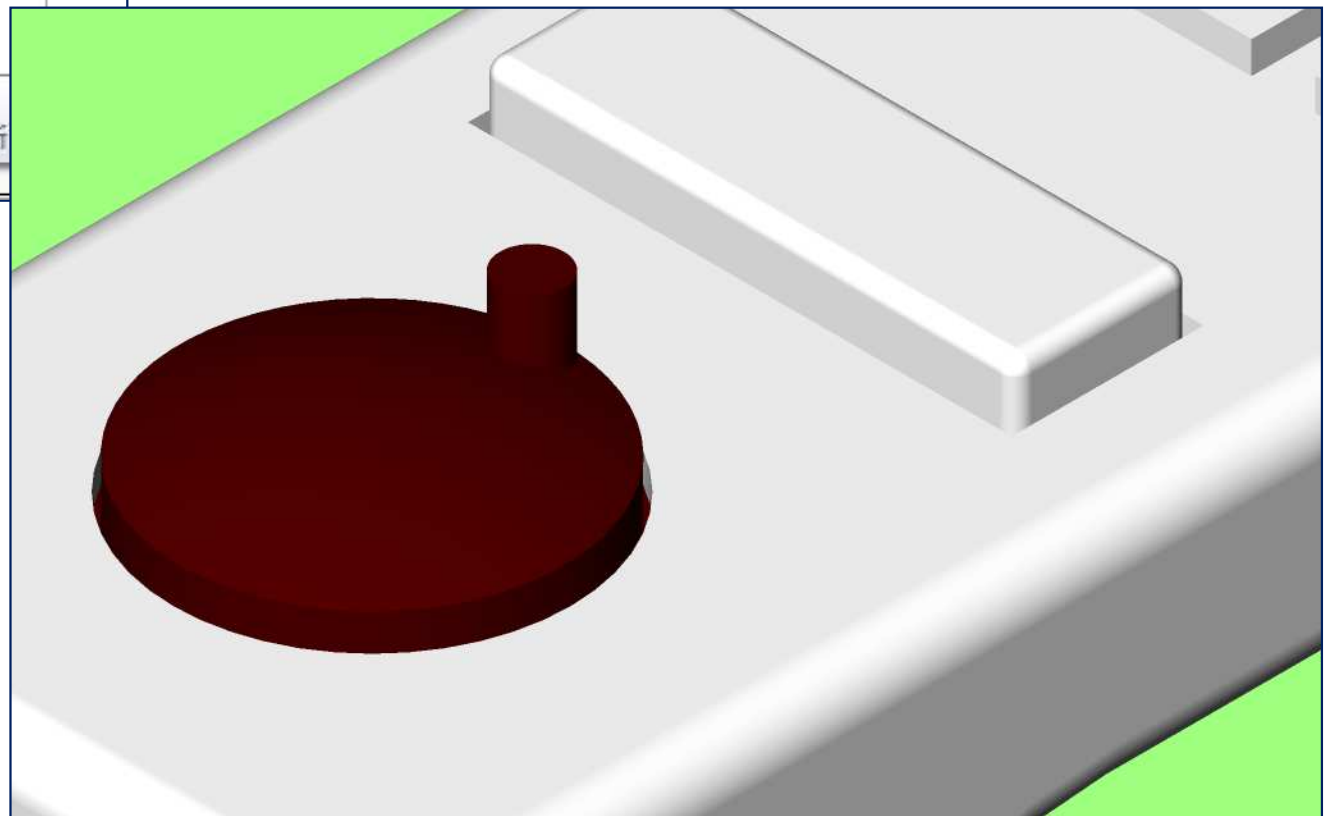
3. 組立モデルの作成(設計変更の更新)



1. ウィンドウを「Assy_Remocon1」に戻します。



2. 「更新」で組立モデルも変更されます。



3. 組立モデルの作成(完成)

